

2016年12月から2020年12月までに製造した一部の自転車・電動アシスト自転車用車輪の「ステンレス製リム※」リコール（無償交換）のお知らせ

ブリヂストンサイクル株式会社が2016年12月から2020年12月までに製造した一部の自転車・電動アシスト自転車用車輪の「ステンレス製リム」と、2016年12月以降、補修用として交換された「ステンレス製リム」（以下対象製品）について、リム溶接部の「線状のサビ、ヘコミ、ひび割れ」によるリムの破損が原因で、走行時にバランスを崩すことによる事故が発生しているため2022年10月11日よりリコール（無償交換）を実施いたします。

2022年7月15日から対象製品で、リムの破損の原因となるリム溶接部の「線状のサビ、ヘコミ、ひび割れ」が発生しているものを対象に安全点検（無償修理）を実施してまいりましたが、現在「線状のサビ、ヘコミ、ひび割れ」が発生していなくとも、将来発生しないとは断言できず、お客様の安全のため、これら事象の発生有無に関わらず無償交換を実施いたします。

対象製品をご使用されている可能性があるお客様は、以下**1. お客様へのお願い**をご確認いただき、**2. お客様お問合せ窓口**までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

お客様に多大なご心配、ご迷惑をお掛けしておりますことを、深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

※リムとは自転車の車輪を構成する金属製の輪の部分です。

1. お客様へのお願い

- ① リムの溶接部分に「線状のサビ、ヘコミ、ひび割れ」が発見された場合は直ちにご使用を中止ください。
（添付資料1-①）
- ② お客様ご使用の自転車・電動アシスト自転車の対象車両（対象製品を使用している車両）かどうか、ご確認ください（添付資料1-②）。
- ③ 「2016年12月以降、補修用として交換されたステンレス製リム」をご使用のお客様は対象補修用リムの可能性があるため、リムの刻印、及びラベルよりご確認ください。（添付資料1-③）

2. お客様問い合わせ窓口

ブリヂストンサイクル株式会社「ステンレス製リム」無償交換お客様コールセンター

フリーダイヤル：0120-662-722 受付時間 9：00～17：00（土日祝日、弊社指定休日は休み）

尚、2022年12月28日までは土日祝日も受け付けております。

ホームページでもご案内しております。 <https://www.bscycle.co.jp/info/2022/10752>

お客様からお知らせいただきました個人情報は、本件の目的以外に使用いたしません。



本件に関するお問合せ先

報道関係者様 担当 大木 toru.oki@bridgestone.com、下山 tomoyuki.shimoyama@bridgestone.com

TEL：0120-72-1911

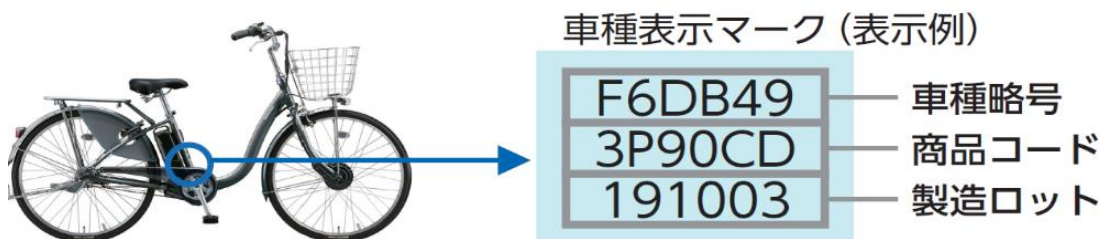
添付資料

1－① 製品をご確認頂き、リムの溶接部分に「線状のサビ・ヘコミ・ひび割れ」がある場合は直ちにご使用を中止ください。



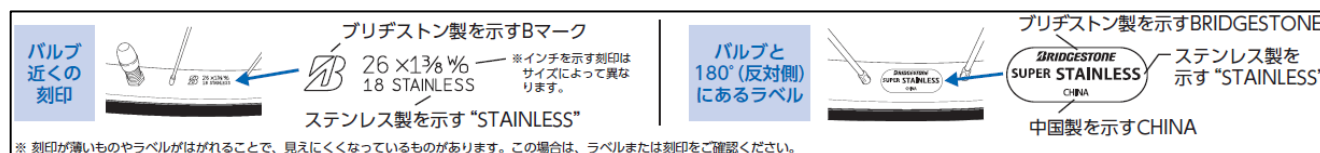
1－② 対象車両確認方法

- ・ご使用の製品の車両情報（車種略号・商品コード・製造ロット）をご準備の上、下記「対象車両を車種略号、商品コード、製造ロットから検索」よりご確認ください。
- ・車両情報（車種略号・商品コード・製造ロット）はご使用の製品のフレームの前後いずれかに貼られている車種表示マークにてご確認ください。車種表示マークの「車種略号」と「商品コード」の記載順は、車種により異なる場合があります。アルファベットで始まるものが「車種略号」、数字で始まるもの（2文字目は英字）が「商品コード」になります。
- ・対象車両を車種略号、商品コード、製造ロットから検索 https://www.bscycle.co.jp/search_rim/



1－③ 「2016年12月以降、車輪の破損などにより補修用として交換されたステンレス製リム」の確認方法

2016年12月以降補修用として交換されたリムで、下記刻印、及びラベルがあるリムは対象補修用リムの可能性があります。



2. 対象台数

対象台数は 51.5 万台/103 万リムと、補修用※で 2.3 万リム、105.3 万リム。

※日本国内において販売店様から依頼を受け補修用（交換用）としてブリヂストンサイクルより販売したリム

以上